

道北地域における持続可能な物流ネットワーク構築プロジェクト

協議会名:北・北海道物流拠点検討協議会

協議会構成員
名寄市、名寄商工会議所、ヤマト運輸株式会社、五十嵐運輸株式会社、西尾運送有限会社、株式会社まちづくり名寄、Umios Hokkaido株式会社

【事業実施背景】
道北地域は、広域分散型の地域構造であり、輸送距離が長く、物量が少ないことから、低積載・片荷輸送・複雑な積替輸送が常態化している。さらに時間外労働規制の影響により、従来型物流ネットワークの維持が困難となることが懸念されている。

事業内容

Point 本事業では、「共同輸送」・「物流DX」・「地域連携構築」の3つのアプローチを中心として、道北地域における持続可能な物流ネットワークの構築に向けて、物流拠点構想及び地域物流プラットフォーム形成に向けた調査・検討等を行う。

プロジェクトの中核:「地域維持型物流モデル」の全貌



想定事業実施効果

- <定性面>
 - 地域物流の効率化・一次産業出荷維持等を実現し、人口減少下においても持続可能な地域物流ネットワークの形成を目標とする。
- <定量面>
 - 【共同輸送参画事業者数】
 - ・0者 ⇒ 3者
 - 【共同輸送モデルルート】
 - ・0ルート ⇒ 3ルート以上
 - 【ドライバー拘束時間削減】
 - ・現状比20%以上削減を目指す
 - 【積載率改善】
 - ・現状比10%以上改善を目指す
 - 【地域物流維持モデル構築】
 - ・実装ロードマップ策定